# *岡山県感染症週報* 2015年第46週(11月9日~11月15日)

#### 岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

- ◆2015年 第 46 週 (11/9~11/15)の感染症発生動向(届出数)
  - ■全数把握感染症の発生状況

第 44 週 2 類感染症 結核 5 名(幼児 男 1名、30代 女 1名、50代 女 2名、60代 男 1名) 第 45 週 2 類感染症 結核 7 名(20代 女 1名、40代 男 1名、50代 男 1名、60代 男 1名、 70代 男 1名、80代 男 1名·女 1名)

4 類感染症 日本紅斑熱 1名(80代 男)

5 類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名(60代 男)

梅毒 1名(50代 男)

第 46 週 2 類感染症 結核 6 名(30 代 女 1 名、40 代 男 1 名、50 代 女 1 名、60 代 男 1 名、 80 代 女 1 名、90 代 女 1 名)

5類感染症 梅毒 1名(20代 男)

- ■定点把握感染症の発生状況
  - ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 52 名 (定点あたり 0.76 → 0.96 人) の報告があり、前週より増加しました。
  - ○伝染性紅斑は、県全体で 19 名(定点あたり 0.31 → 0.35 人)の報告があり、前週よりわずかに増加しました。
  - 〇流行性耳下腺炎は、県全体で 37 名(定点あたり  $0.63 \rightarrow 0.69$  人)の報告があり、前週とほぼ同数でしたが、 真庭地域では、発生レベル 3 となりました。
  - ○RS ウイルス感染症は、県全体で 50 名 (定点あたり 0.80 → 0.93 人) の報告があり、前週より増加しました。
  - ○インフルエンザは、県全体で 12 名 (定点あたり 0.02 → 0.14 人) の報告があり、前週より増加しました。【第 47 週 速報】
  - ○真庭地域の小学校 1 校で、流行性耳下腺炎による学年閉鎖がありました。(11 月 16 日)
- 1. <u>A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>は、県全体で 52 名 (定点あたり 0.76 → 0.96 人) の報告があり、前週より増加しました。地域別では、真庭地域 (2.50 人) 、倉敷市 (2.09 人) 、岡山市 (0.93 人) の順で、定点あたり報告数が多くなっています。例年、冬季に患者が多く報告されますので、今後の県内の発生状況に注意し、手洗い・うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。
- 2. <u>伝染性紅斑 (リンゴ病)</u> は、県全体で 19 名 (定点あたり 0.31 → 0.35 人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。過去 10 年間の同時期と比較して最も多い状態が続いています。地域別では、岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域で、患者の発生が報告されています。特に岡山市では定点あたり 0.93 人であり、他の地域と比較して第 24 週から患者の発生が多い状態が続いています。この感染症は、妊娠中、特に妊娠初期に感染した場合、胎児異常(胎児水腫) や流産の危険があります。妊婦の方は、周囲で患者の発生がみられる時、風邪の症状がある人に出来るだけ近づかないよう注意するとともに、家庭内で感染した人がいる場合は、必ず産婦人科で相談しましょう。
- 3. 流行性耳下腺炎は、県全体で 37 名 (定点あたり  $0.63 \rightarrow 0.69$  人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、真庭地域 ( $1.00 \rightarrow 7.00$  人) で定点あたり報告数が前週より大きく増加し、「発生レベル 3」となりました。 県内の発生状況など、詳しくは「今週の注目感染症」をご覧ください。
- **4.** RSウイルス感染症は、県全体で 50 名(定点あたり  $0.80 \rightarrow 0.93$  人)の報告があり、前週より増加しました。地域別では、岡山市(1.86 人)、美作地域(1.67 人)、倉敷市(1.18 人)の順で、定点あたり報告数が多くなっています。ひきつづき今後の県内の発生状況に注意するとともに、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めてください。
- 5. <u>インフルエンザ</u>は、県全体で 12 名 (定点あたり 0.02 → 0.14 人) の報告があり、前週より増加しました。県内の発生状況など詳しくは、「インフルエンザ週報」及び岡山県感染症情報センターホームページ『2015/2016 年シーズン インフルエンザ情報』をご覧ください。

### 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	4	*	RSウイルス感染症	*	**
咽頭結膜熱	1	*	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	***
感染性胃腸炎	4	*	水痘	*	*
手足口病	1	*	伝染性紅斑	*	***
突発性発疹	4	*	百日咳	4	*
ヘルパンギーナ	4	*	流行性耳下腺炎	4	*
急性出血性結膜炎	4	**	流行性角結膜炎	¥	*
細菌性髄膜炎	-		無菌性髄膜炎	4	**
マイコプラズマ肺炎	-		クラミジア肺炎	4	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	V		(ロタウイルス)については、2013 年第 42 ⅓ 多のみ表示しています。	<b>園から報告対</b>	象となったため、

【記号の説明】 前週からの推移:

:2 倍以上の減少

:1.1~2 倍未満の減少

:1.1 未満の増減

🧪 :1.1~2 倍未満の増加

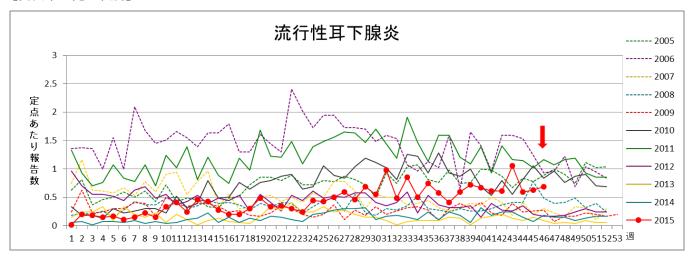
1 : 2 倍以上の増加

発生状況: 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

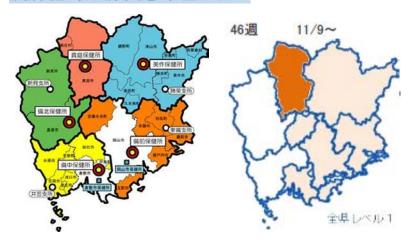
空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★★★:非常に多い ★★★:やや多い

# 今週の注目感染症 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

#### 【岡山県の発生状況】



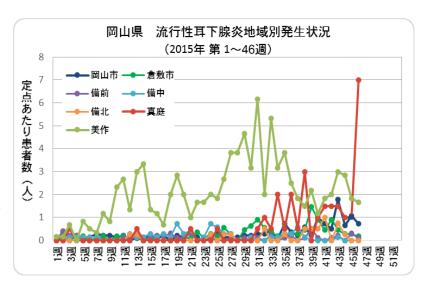
# 流行性耳下腺炎感染症マップ



流行性耳下腺炎 発生レベル基準値(定点あたり報告数)

レベ	ル3	レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
6	2	3 以上 6 未満
レベル1	報告なし	
基準値	基準値	
0 < 3 未満	0	

流行性耳下腺炎は、県全体で37名(定点あたり0.63→0.69人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、真庭地域で定点あたり報告数が前週より大きく増加(1.00→7.00人)し、「発生レベル3」になりました。第47週には、真庭地域の小学校で学年閉鎖も報告されています。また、2015年第46週までの地域別発生状況みると、美作地域は、定点あたり報告数が他の地域と比較してかなり多い状態で推移しており、



真庭・美作地域など患者発生の多い地域では、今後も発生状況に注意して下さい。

#### 【流行性耳下腺炎とは】

流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」とも呼ばれ、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするムンプスウイルスによる感染症です。3~6歳の小児に多い感染症で、感染力はかなり強いと言われています。主な感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込む飛沫感染や、ウイルスが付いた手で口や鼻に触れることによる接触感染です。

#### 【症状】

症状は、2~3週間の潜伏期間を経て、唾液腺の腫れや圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症し、通常1~2週間で軽快します。まれに無菌性髄膜炎や難聴を合併することがあり、無菌性髄膜炎は患者の約1~10%に出現すると考えられています。また思春期以降感染した場合、男性では睾丸炎、女性では卵巣炎を合併することがあります。

#### 【治療・予防】

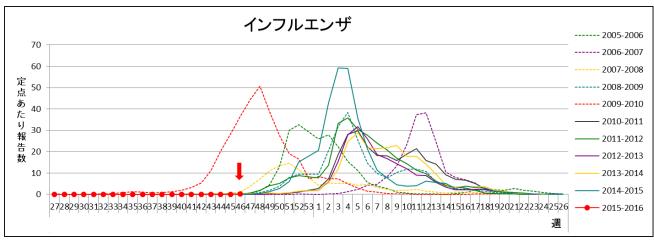
有効な特効薬はなく、治療は対症療法が中心です。効果的に予防する唯一の方法は、ワクチンを接種することです。ワクチンの副反応としては、接種者の 100 人に 2~3 人の割合で、接種後 3 週間前後に軽度の耳下腺腫脹と微熱がみられることがあり、2,000~2,500 人に 1 人の割合で、無菌性髄膜炎がみられることがあります。

流行性耳下腺炎 (ムンプス、おたふくかぜ) (国立感染症研究所) おたふくかぜの自然感染とワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生について (IASR Vol.34:2013 年 8 月号)

# インフルエンザ週報 2015年 第46週 (11月9日~11月15日)

### ▶ 岡山県の流行状況

- ○インフルエンザは、県全体で 12 名の発生がありました (84 定点医療機関報告)。
- ○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- ○インフルエンザによる入院患者 2 名の報告がありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週 ~ 翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、備前地域 6名、倉敷市 4名、備中地域 1名、備北地域 1名の報告があり、県全体では 12名 (定点あたり  $0.02 \rightarrow 0.14$  人) の発生となりました (84 定点医療機関報告)。県内の患者発生はまだ散発的ですが、報告数はわずかに増加しています。

第 45 週全国集計によると、全国の定点あたり報告数は 0.13 人であり、発生はまだ散発的です。都道府県別では、沖縄県 (1.03 人)、静岡県 (0.35 人)、愛知県 (0.31 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常 12 月に入ってからといわれますが、すでに全国では集団事例も発生しています。外出後は手洗いを励行し、感染予防を心がけましょう。

IDWR 速報データ 2015 年第 45 週(国立感染症研究所)

インフルエンザ Q&A(厚生労働省)

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)

#### 1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生	<b>状況</b>	推移	地域名	発生物	推移	
岡山県全体	患者数	12	<b>A</b>	備中	患 者 数	1	•
岡山宗主伊	定点あたり	0. 14	4	VIII T	定点あたり	0. 08	4
図山市	患者数	_	<b>&gt;</b>	備北	患者数	1	<b>A</b>
岡山市	定点あたり	_		NH 4C	定点あたり	0. 17	4
倉敷市	患 者 数	4	<b>A</b>	真庭	患 者 数	_	1
7G 75 113	定点あたり	0. 25	4	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	定点あたり	_	
備前	患者数	6	A	美作	患者数	_	1
נינו נאע	定点あたり	0. 40	7	X 1F	定点あたり	_	

【記号の説明】 前週からの推移

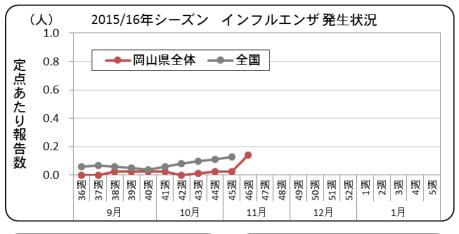
■ : 2 倍以上の減少

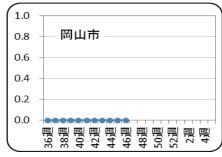
🔪 : 1.1~2 倍未満の減少

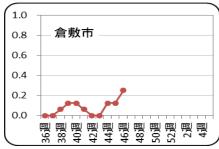
➡:1.1 未満の増減

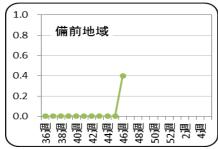
: 1.1~2 倍未満の増加

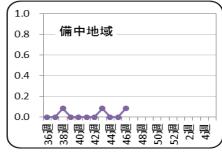
↑ : 2 倍以上の増加

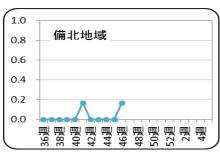


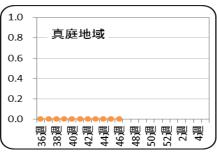


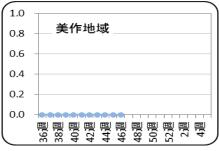












# 2. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

#### 3. インフルエンザウイルス検出状況

第46週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。

# 4. インフルエンザによる入院患者報告数(県内基幹定点 5 医療機関による報告)

インフルエンザによる入院患者は、2名(80歳以上)の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

# ◆◆ インフルエンザの予防接種はお早めに! ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。

本格的な流行がはじまる12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。

予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。

流行するウイルスの型が変わるため、毎年、接種することが望まれます。

ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

保健所別報告患者数(定点	把握)	2015	年 46退	圆(20	015/11		2015年11月19日									
	全	県	岡山	1市	倉敷	<b>大市</b>	備	備前 備中			備:	北	真月	廷	美	乍
疾病名	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	12	0.14	-	-	4	0.25	6	0.40	1	0.08	1	0.17	_	-	-	_
RSウイルス感染症	50	0.93	26	1.86	13	1.18	-	_	1	0.14	-	_	- :	_	10	1.67
咽頭結膜熱	9	0.17	7	0.50	-	_	1	0.10	1	0.14	-	_	-	_	-	_
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	0.96	13	0.93	23	2.09	2	0.20	4	0.57	2	0.50	5	2.50	3	0.50
感染性胃腸炎	266	4.93	56	4.00	94	8.55	57	5.70	24	3.43	12	3.00	6	3.00	17	2.83
水痘	25	0.46	12	0.86	9	0.82	-	_	2	0.29	-	_	-	_	2	0.33
手足口病	10	0.19	3	0.21	1	0.09	-	_	4	0.57	-	_	- !	_	2	0.33
伝染性紅斑	19	0.35	13	0.93	1	0.09	2	0.20	-	_	-	_	_	_	3	0.50
突発性発疹	18	0.33	6	0.43	6	0.55	2	0.20	3	0.43	-	_	1	0.50	- :	_
百日咳	2	0.04	-	_	2	0.18	-	_	-	_	-	_	-	_	-	_
ヘルパンギーナ	4	0.07	1	0.07	-	_	-	_	1	0.14	-	_		_	2	0.33
流行性耳下腺炎	37	0.69	10	0.71	2	0.18	1	0.10	-	_	-	_	14	7.00	10	1.67
急性出血性結膜炎	2	0.17	2	0.40	-	_	-	_	-	_					- :	_
流行性角結膜炎	4	0.33	-	-	- !	_	3	3.00	1	1.00					- :	_
細菌性髄膜炎	_	-	-	-	-	_					-	_	-	_	- !	_
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	_	-	_					-	_	1	1.00	-	_
マイコプラズマ肺炎	-	_	-	_	-	_					-	_	-	_	-	_
クラミジア肺炎	-	_	-	_	-	_					-	_	-	_	-	_
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	_	_	-	-	-	_					-	_	-	_	-	_

(-: 0 or 0.00) (空白:定点なし)

保健所別報告患者数(発生)	保健所別報告患者数 (発生レベル設定疾患) 2015年 46週 (2015/11/09~2015/11/15) 2015年11月19日															
	全県    岡山市		倉鴺	倉敷市		備前		備中		北	真原	莛	美	作		
疾病名	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	12	0.14	-	-	4	0.25	6	0.40	1	0.08	1	0.17	- !	-	-	_
咽頭結膜熱	9	0.17	7	0.50	-	-	1	0.10	1	0.14	-	-	- :	-	- :	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	0.96	13	0.93	23	2.09	2	0.20	4	0.57	2	0.50	5	2.50	3	0.50
感染性胃腸炎	266	4.93	56	4.00	94	8.55	57	5.70	24	3.43	12	3.00	6	3.00	17	2.83
水痘	25	0.46	12	0.86	9	0.82	-	_	2	0.29	-	_	-	_	2	0.33
手足口病	10	0.19	3	0.21	1	0.09	_	_	4	0.57	-	_	-	_	2	0.33
伝染性紅斑	19	0.35	13	0.93	1	0.09	2	0.20	-	_	-	_	- :	_	3	0.50
百日咳	2	0.04	-	_	2	0.18	-	_	- !	_	-	_	- :	_	- :	-
ヘルパンギーナ	4	0.07	1	0.07	_	_	- :	_	1	0.14	-	_	- !	_	2	0.33
流行性耳下腺炎	37	0.69	10	0.71	2	0.18	1	0.10	_ [	-	-	-	14	7.00	10	1.67
急性出血性結膜炎	2	0.17	2	0.40	_	_	-	-	-	_					-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	-	-	-	-	3	3.00	1	1.00					-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3 薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査	週情報	報告患者数 年齢	训 (2015年	第46週	2015/11/09~2015/11/15)
-----------	-----	----------	----------	------	------------------------

疾病名	승計 -	-6ヶ月-	12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	9 40-	-49 50	)-59 6C	)-69 7	0-79	8
インフルエンザ	12	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	2	1	1	-	_	2	1	1	2	
<b>支病名</b>	승計 -	-6ヶ月-	12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	_						
RSウイルス感染症	50	10	10	15	8	3	3	_	1	_	_	_	_	_								
<b></b> 因頭結膜熱	9		2	2	3			1	1													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52			4	3	1	7	6	7	6	3	6	6		3	3						
<b>感染性胃腸炎</b>	266	6	19	44	34	24	19	19	11	16	6	10	17	8	33	3						
水痘	25		1	3	7	3	3	2		2	2	2										
手足口病	10		1	2	1	3		2		1												
云染性紅斑	19		2		3	2	2	5	1	1	1	2										
突発性発疹	18		10	8																		
百日咳	2	1						1														
ヘルパンギーナ	4			2		1	1															
流行性耳下腺炎	37				1	2	7	10	3	6	3	1	3		1							
 <b>失</b> 病名	合計 -	-6ヶ月-	12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	9 40-	-49 50	)-59 60	J-69	70~	-
急性出血性結膜炎	2	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_			_	2	_	_	-	
<b>流行性角結膜炎</b>	4														1	,	1	1		1		
 実病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24 2	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	9 70	)~				
細菌性髄膜炎	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_			_				
<b>無菌性髄膜炎</b>	1																	1				
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎																						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																						

(-:0)

全数	数把握 感染症患者	発生	状》	兄	2015 年 46 週							
,		201	5	2014		2015	5 2	014	ı	2015	5 2	2014
分類	疾病名	今週	累計	昨年	疾病名	今週	累計	昨年	疾病名	今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	_	_	_	クリミア・コンゴ出血熱	_	_	_	痘そう	_	_	_
	南米出血熱	_	_	_	ペスト	_	_	_	マールブルグ病	_	_	_
	ラッサ熱	_	_	_		-	-	-		-	_	-
二類	急性灰白髄炎	_	_	_	結核	6	329	384	ジフテリア	_	_	_
	重症急性呼吸器症候群	_	_	_	中東呼吸器症候群	-	_	_	鳥インフルエンザ(H5N1)	_	_	_
	鳥インフルエンザ(H7N9)	_	_	_		_	_	_		_	_	
三類	コレラ	_	_	_	細菌性赤痢	_	2	_	腸管出血性大腸菌感染症	_	61	71
	腸チフス	_	_	_	パラチフス	_	_	_		_	_	_
四類	E型肝炎	_	3	2	ウエストナイル熱	_			A型肝炎	_	6	8
	エキノコックス症	_	_	_	黄熱	_	_	_	オウム病	_	1	_
	オムスク出血熱	_	_	_	回帰熱	_	_	_	キャサヌル森林病	_	_	
	Q熱	_	_	_	狂犬病	_	_	_	コクシジオイデス症	_	_	_
	サル痘	_	_	_	重症熱性血小板減少症候群	_	_	2	腎症候性出血熱	_	_	
	西部ウマ脳炎	_	_	_	ダニ媒介脳炎	_	_	_	炭疽	_	_	_
	チクングニア熱	_	_	_	つつが虫病	-	_	2	デング熱	_	_	1
	東部ウマ脳炎	_	-	_	鳥インフルエンザ	_	_	_	ニパウイルス感染症	_	-	_
	日本脳炎	_	_	_	日本紅斑熱	_	2	4	ハンタウイルス肺症候群	_	_	
	Bウイルス病	_	_	_	鼻疽	_	_	_	ブルセラ症	_	-	_
	ベネズエラウマ脳炎	_	_	_	ヘンドラウイルス感染症	_	_	_	発しんチフス	_	-	
	ボツリヌス症	_	-	_	マラリア	_	2	_	野兎病	_	_	_
	ライム病	_	_	_	リッサウイルス感染症	_	_	_	リフトバレー熱	_	_	
	類鼻疽	_	-	-	レジオネラ症	_	24	32	レプトスピラ症	_	_	_
	ロッキー山紅斑熱	_	_	_		_	_	_			_	
五類	アメーバ赤痢	_	16	12	ウイルス性肝炎*3	_	7	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	_	29	12
	急性脳炎*4	_	- 11	9	クリプトスポリジウム症	_	1	_	クロイツフェルト・ヤコブ病	_	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	_	2	3	後天性免疫不全症候群	_	19	21	ジアルジア症	_	3	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	_	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	_	-	_	侵襲性肺炎球菌感染症	_	27	27
	水痘(入院例に限る。)	_	5	6	先天性風しん症候群	_	-	_	梅毒	1	17	21
	播種性クリプトコックス症	_	1	1	破傷風	_	_	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	_	_	_
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	_	_	2	風しん	_	_	2	麻しん	_	_	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	_	_	_		_	_	_		_	_	

